

「高野山古事の森」見学会を開催しました。

【和歌山森林管理署】

11月9日（土）和歌山県高野町において、美しい紅葉が映える秋晴れの中、一般参加者16名を迎え、伝統的木造建築物の修復や復旧に必要となる特殊な体系長尺材の供給を目指して設定された「高野山古事の森」の見学会を開催しました。

当日は、将来の用途となる伝統的木造建築物の一例として、一般公開されていない「世界遺産高野山 金剛峯寺新書院・奥殿」を、金剛峯寺 霊宝館 館長 大森照龍氏の歴史深いお話とともに、普段見ることができない貴重な建築や襖絵等に魅了されつつ見学しました。

その後、「高野山 古事の森」（高野山国有林242林班）まで移動し、ドローンからの映像により古事の森の成長を上空から見ていただきながら、古事の森づくりの概要説明を行いました。参加者からは、「毎年楽しみにしており、来年も参加したい。」「貴重な襖絵が見学出来て、大変良かった。」との嬉しいお声をいただくなど、有意義な一日となりました。

今後も、古事の森 PR 活動等を続けてまいりたいと思います。

